

# わが園の保護者交流プログラム 第2寝屋川なかよし保育園

あけましておめでとございませう。  
2007年の秋にスタートした、このわが園の保護者交流プログラム。今年もそれぞれの連盟加入園でとりくまれている、さまざま、あたたかな取り組みをご紹介して参りたいと思います。みなさま、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2008年最初の「わが園の保護者交流プログラム」は、第2寝屋川なかよし保育園の取り組みをご紹介します。

第2寝屋川なかよし保育園は、大阪府下で2番目に認可を受けた夜間保育園です。大阪府の北東部に位置する人口24万人の住宅都市に、昭和22年(1986年)、既存の保育園(寝屋川なかよし保育園)に併設し、定員30人でスタートしました。その後、平成17年(2005年)の移転改築時に定員増を行い、現在の定員45名を8名の保育士が保育に携わっています。開園時間は、午前7時から午後10時までの15時間です。

「健康で生きいきと 仲間を大切に 思いやりのあること」  
この子にとって、今、何が一番大切なかを考える保育

と、という保育理念のもと、保育計画に基づいて保育を行っています。保護者が安心して子どもを預けることがで

きるように、一人ひとりを大切に、家庭的な雰囲気の中で保育を進めています。長時間保育であるため、17:00以降は、特に家庭的な雰囲気です。

## 花火大会

第2寝屋川なかよし保育園の夏の風物詩、ともいえるのが毎年夏に開催される花火大会です。これは、夜間保育を利用する0歳から5歳児と、その保護者、そして卒園したきょうだいも参加する第2寝屋川なかよし保育園の大きなイベントのひとつです。花火だけでなく、この日に配られるお茶、お菓子、そしてお楽しみの花火まですべてチケット制です。保育士の「お店屋さん」でチケットと「お楽しみ」を交換します。この楽しい行事の中で、普段は顔を合わせることもない保護者同士が話すきっかけが生まれ、また我が子の友だちを知る機会にもなっています。この花火大会、子どもたちにはもちろん、保護者にも人気の高いプログラムなのです。

## 天体望遠鏡ドーム

園舎の屋上には、天体望遠鏡が設置されています。1年を通し、天体観測の好機をとらえ、美しい星空を眺めることができます。夜間保育園の子どもたちは、夕食後、のんびりと夜空を眺め、天体観測を楽しみむことが

きます。  
このドームは、保護者や地域の方を対象にした催しにも活用されています。

## クリスマス

1年の中でも、子どもたちにとって大きなお楽しみであるクリスマス。第2寝屋川なかよし保育園のクリスマスは、3歳から5歳の子もたちが主体となって、取り組みが進められます。

クリスマス会に招待されるのは、保護者や0〜2歳児の子どもたちです。クリスマス会を主催し、みんなを招待するのは、幼児クラスの子どもたちなのです。この日のために、子どもたちがお面や小道具、大道具をこしらえるなどして準備した劇遊びを披露します。また、子どもたちが招待した保護者と一緒にゲームも楽しめます。クリスマスケーキも、子どもたちの手作りで。第2寝屋川なかよし保育園のクリスマスは、楽しいのはもちろんのこと、子どもたちの成長を目で、お腹で、そして心で感じることもできるクリスマスなのです。

こういったプログラムを通して、保護者同士も交流を深めると同時に、自分子ども以外の子どもたちも知ることが出来ます。そうすると、保護者が保育園の子もたちに声をかけるなど、保護者と園児とのやりとりも増えていきます。そんなやりとりの積み重ねから、年度末には子どもも保護者も、そして保育士も、みんなで大きな大きな家族のようになっていくのです。



第2寝屋川なかよし保育園のとりくみは、行事をとおして、保護者同士の楽しい交流をしかける配慮がなされています。天体望遠鏡ドームは、特にあたたかく家庭的な雰囲気大切にしている時間帯に活用され、正に夜間保育の強みを活かしたとりくみになっています。幼児クラスの子もたちが招待してくれるクリスマスは、夜間保育を利用する保護者にとって、子どもの成長を実感できる瞬間という最高のプレゼントになっているのではないのでしょうか。そこに存在する、「親である喜び」、その喜びが子育ての力になる、そんなあたたかな循環が作られています。そのベースにあるものは、関係者の方々のパワーと、あたたかさの源」です。